



アライアンス・バーンスタイン・ グローバルESG・社債ファンド2021-02 (限定追加型)

追加型投信／内外／債券
第5期(決算日2026年2月25日)

●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	2021年2月26日(当初設定日)から2026年2月25日までです。
運用方針	<p>信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主として、新興国を含む世界の社債等のうち、信託期間内に満期償還を迎える債券に投資します。 ・ポートフォリオの構築にあたっては、計量分析とファンダメンタル分析による徹底したリサーチを行い、ESG評価が一定基準を満たす銘柄群の中から、将来の信用力分析やリスク特性などを考慮して魅力的と判断される銘柄を選定して投資します。 ・外貨建資産について、原則として対円で為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図ります。 ・信託期間は約5年の限定追加型投資信託です。 ・運用は、アライアンス・バーンスタインのグループ会社に委託します。
主運用対象	主として世界各国の社債等に投資します。
組入制限	<ul style="list-style-type: none"> ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。 ・株式への投資は、優先証券のうち株券または新株引受権証券の性質を有するものならびに転換社債の転換および新株予約権を行使したものに限り、信託財産の純資産総額の10%以内とします。
分配方針	<p>原則として毎決算時に、以下の方針に基づき分配を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ・分配金額は、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配可能額が少額の場合等には、収益分配を行わないこともあります。 ・留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用を行います。

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・グローバルESG・社債ファンド2021-02 (限定追加型)」は、2026年2月25日をもちまして信託期間を満了し、償還いたしました。ここに、信託期間中の運用経過等についてご報告いたします。これまでのみなさまのご愛顧に対し、厚く御礼申し上げます。

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

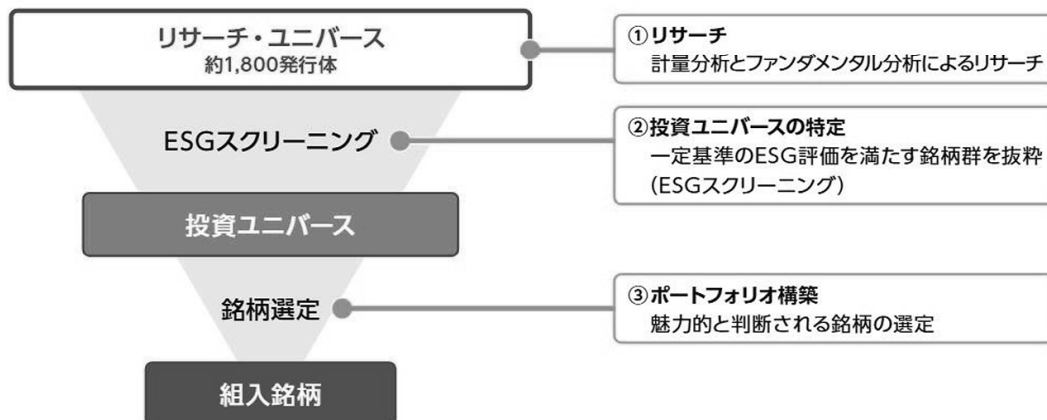
(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

アライアンス・バーンスタイン・グローバルESG・社債ファンド2021-02（限定追加型）の運用プロセス

アライアンス・バーンスタイン・グローバルESG・社債ファンド2021-02（限定追加型）は、主として新興国を含む世界の社債等のうち、信託期間内に満期償還を迎える債券に投資しますが、ポートフォリオの構築に当たっては、計量分析とファンダメンタル分析による徹底したリサーチを行い、ESG評価が一定基準を満たす銘柄群の中から、将来の信用力分析やリスク特性などを考慮して魅力的と判断される銘柄を選定して投資します。下図のようなプロセスでポートフォリオを構築します。

運用プロセス



※資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 中 率			
(設定日) 2021年2月26日	円 銭 10,000		円 —	% —	% —	% —	百万円 13,125
1期(2022年2月25日)	9,710		0	△2.9	96.5	—	14,557
2期(2023年2月27日)	9,028		0	△7.0	97.8	—	12,202
3期(2024年2月26日)	9,199		0	1.9	101.5	—	9,041
4期(2025年2月25日)	9,229		0	0.3	96.5	—	6,805
(償還時) 5期(2026年2月25日)	(償還価額) 9,234.57		—	0.1	—	—	5,233

(注) 設定日の基準価額は、当初設定時の価額です。また設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を表示しております。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
				騰 落	率		
	(期 首)		円 銭		%		%
	2025年	2月25日	9,229		—	96.5	—
	2月末		9,239		0.1	96.2	—
	3月末		9,232		0.0	84.8	—
	4月末		9,231		0.0	87.0	—
	5月末		9,235		0.1	92.9	—
	6月末		9,243		0.2	94.8	—
	7月末		9,239		0.1	101.7	—
	8月末		9,243		0.2	88.9	—
	9月末		9,243		0.2	92.5	—
	10月末		9,243		0.2	82.2	—
	11月末		9,241		0.1	95.7	—
	12月末		9,245		0.2	93.2	—
	2026年	1月末	9,238		0.1	91.1	—
	(償還時)		(償還価額)				
	2026年	2月25日	9,234.57		0.1	—	—

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 債券組入比率には、新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

※ベンチマークおよび参考指数について

当ファンドの運用方針と類似した適切な指標が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

設定来の運用経過

（アライアンス・バーンスタイン・グローバルESG・社債ファンド2021-02（限定追加型）（以下「当ファンド」ということがあります。）の設定来の運用状況をご報告いたします。

設定来の基準価額等の推移

（2021年2月26日～2026年2月25日）



設 定 日：10,000円
 第5期末(償還日)：9,234円57銭 (既払分配金(税込み)：0円)
 騰 落 率：△ 7.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 分配金再投資基準価額は、設定日(2021年2月26日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

○基準価額等の推移

償還価額は9,234円57銭となり、設定日比で下落しました。

○基準価額の変動要因

下落要因

- ・保有している債券価格の下落
- ・為替のヘッジコスト

投資環境

(2021年2月26日～2026年2月25日)

第1期＜2021年2月26日～2022年2月25日＞

当期のグローバル社債市場は、下落しました。

設定日から2021年7月半ばにかけては、堅調な欧米の株式市場の流れを受けて上昇基調で推移しました。しかしその後は、中国の大手不動産開発業者の信用懸念の高まりや、米国における早期テーパリングの開始を受けて、下落に転じました。12月以降期末にかけては、欧米のインフレ高進への懸念を背景とした早期利上げ観測などが意識され、欧米の国債金利が上昇したことからさらに下落しました。

第2期＜2022年2月26日～2023年2月27日＞

当期のグローバル社債市場は、下落しました。

期初から2022年10月下旬にかけては、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした地政学リスクに加え、インフレ高進懸念を背景とする欧米の中央銀行による金融引き締めで世界的な景気減速懸念が高まったことから、下落基調で推移しました。特にロシア産天然ガスの供給懸念により、欧州の景気減速懸念が強まりました。その後期末にかけては、原油価格の落ち着きや、欧米の中央銀行の利上げペース減速への期待などからやや戻しました。

第3期＜2023年2月28日～2024年2月26日＞

当期のグローバル社債市場は、上昇しました。

堅調な欧米の株式市場や、早期利下げ観測の高まりなどを受けて、期を通じておおむね上昇基調で推移しました。

第4期＜2024年2月27日～2025年2月25日＞

当期のグローバル社債市場は、上昇しました。

堅調な欧米の株式市場や、欧州に続き米国でも利下げが開始されたことなどを受けて、期を通じておおむね上昇基調で推移しました。

第5期＜2025年2月26日～2026年2月25日＞

当期のグローバル社債市場は、上昇しました。

期初から2025年5月下旬にかけては、米国トランプ政権による大規模な相互関税の発表や、米国の財政赤字に対する懸念が強まったことなどから下落基調で推移しました。その後償還日にかけては、米中貿易摩擦の再燃や人工知能(AI)関連企業の過剰債務に対する懸念から市場センチメントが悪化し一時的に弱含む局面もみられました。しかし、米国の追加利下げ観測が高まったことに加え、投資家のリスク選好が回復したことで、おおむね上昇基調で推移しました。

運用概況

（2021年2月26日～2026年2月25日）

当ファンドは、設定来より信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行いました。主として、新興国を含む世界の社債等のうち、信託期間内に満期償還を迎える債券に投資し、投資した債券は原則として各債券の満期償還日まで保有いたしました。外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りました。

運用にあたっては、計量分析とファンダメンタル分析による徹底したリサーチを行い、ESG*評価が一定基準を満たす銘柄群の中から、将来の信用力分析やリスク特性等を考慮して魅力的と判断される銘柄を選定して投資しました。なお、2026年2月以降は償還に向けて組入債券の売却を進めました。

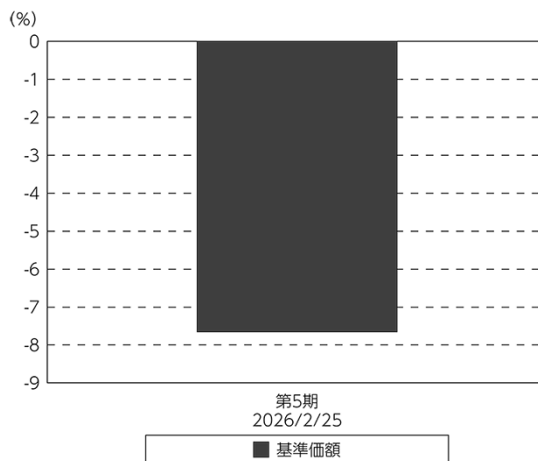
* ESGとは、Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）の頭文字をとったものです。ESG評価の高い企業は、事業環境等への対応能力やリスク管理に優れ、長期的に事業を継続できることが期待できると考えられます。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2021年2月26日～2026年2月25日）

当ファンドは、特定の指数を上回ることを目指す運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

基準価額（設定日比騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

分配金

(2021年2月26日～2026年2月25日)

信託期間中の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、収益分配を行いませんでした。なお、第5期(償還期)までに信託財産中に留保されてきた利益につきましては、償還価額に含みお支払いいたしております。

当ファンドは2026年2月25日をもちまして、償還いたしました。長らくのご愛顧に対し、心より厚く御礼申し上げます。

＜ご参考＞代表的な組入銘柄解説・ESGの取組みについて

アライアンス・バーンスタイン・グローバルESG・社債ファンド2021-02（限定追加型）において投資している代表的な組入銘柄について、アライアンス・バーンスタイン*が、ESGが企業の信用力向上に資すると判断した根拠をご説明いたします。なお、以下は入手可能な直近のデータを掲載しております。
*アライアンス・バーンスタイン（AB）には、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。

基準日：2026年1月30日

リーガル・レックスノード

【ESGが企業の信用力向上に資すると判断した根拠】

電動モーター等を製造する米国企業で、省エネ技術開発や温室効果ガス排出量削減に注力している。

ボストン・プロパティーズ

【ESGが企業の信用力向上に資すると判断した根拠】

米国大手オフィスREIT。省エネ改修やグリーンビル認証取得を進め、環境負荷低減に注力。

クラウン・キャッスル

【ESGが企業の信用力向上に資すると判断した根拠】

米通信インフラ企業。通信塔・小型基地局の効率運用により、低炭素なデジタル社会を支援。

エンゲージメントについて

アライアンス・バーンスタインの債券運用プラットフォームのポートフォリオ・マネジャーとアナリストは、炭素排出量、サステナブル・ファイナンス、ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン（DEI）など、環境・社会・ガバナンス（ESG）に関する幅広いトピックについて、債券発行体の経営陣や取締役会メンバーに対しエンゲージメントを行いました。

過去のエンゲージメントについて、当社ホームページ（以下のURLの「月報・各種資料」）に『ESGエンゲージメント・レポート／アライアンス・バーンスタイン 債券部門におけるエンゲージメント活動』を掲載していますので、ご参照ください。

<https://www.alliancebernstein.co.jp/retail/5244.html>

また、右の2次元コードをスマートフォン等のカメラで読み込むことで、直接ご覧いただけます。



○ 1万口当たりの費用明細

(2025年2月26日～2026年2月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	89	0.968	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(46)	(0.495)	委託した資金の運用、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(41)	(0.440)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の提供等、口内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.036	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.007)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(3)	(0.029)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、計理業務関係費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・提供等および届出に係る費用等
合 計	92	1.004	
期中の平均基準価額は、9,239円です。			

(注) 期中の費用(消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

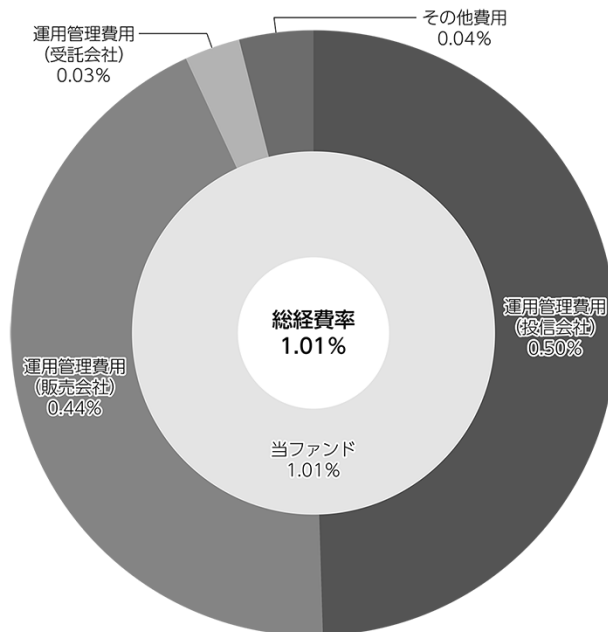
(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.01%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年2月26日～2026年2月25日)

公社債

			買付額	売付額
外	アメリカ	国債証券	千米ドル 27,136	千米ドル — (31,011)
		社債券	15,206	3,561 (45,218)
国	その他	社債券	千ユーロ —	千ユーロ 330 (2,020)
		社債券	千英ポンド —	千英ポンド — (3,298)

(注) 金額は受け渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注) 社債券には新株予約権付社債(転換社債)は含まれておりません。

(注) () 内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) —印は該当なし。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月26日～2026年2月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年2月25日現在)

2026年2月25日現在、有価証券等の組入れはございません。

○投資信託財産の構成

（2026年2月25日現在）

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 5,261,326	% 100.0
投資信託財産総額	5,261,326	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び償還価額の状況（2026年2月25日現在）

項 目	償 還 時
	円
(A) 資産	5,261,326,578
コール・ローン等	5,261,239,372
未収利息	87,206
(B) 負債	27,671,174
未払信託報酬	26,755,964
その他未払費用	915,210
(C) 純資産総額(A-B)	5,233,655,404
元本	5,667,460,974
償還差損金	△ 433,805,570
(D) 受益権総口数	5,667,460,974口
1万口当たり償還価額(C/D)	9,234円57銭

（注）期首元本額7,373,529,738円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額1,706,068,764円。当期末現在における1口当たり純資産額0.923457円。

（注）当期末現在において純資産総額が元本を下回っており、その差額は△433,805,570円です。

○損益の状況（2025年2月26日～2026年2月25日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	211,956,669
受取利息	207,467,277
その他収益金	4,489,392
(B) 有価証券売買損益	△153,214,328
売買益	328,892,449
売買損	△482,106,777
(C) 信託報酬等	△ 59,405,669
(D) 当期損益金(A+B+C)	△ 663,328
(E) 前期繰越損益金	△428,980,370
(F) 追加信託差損益金	△ 4,161,872
(配当等相当額)	(372,194)
(売買損益相当額)	(△ 4,534,066)
償還差損金(D+E+F)	△433,805,570

（注）損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。

（注）損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

○投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2021年2月26日			投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2026年2月25日			資産総額	5,261,326,578円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託		負債総額	27,671,174円
受益権口数	13,125,477,814口	5,667,460,974口	△7,458,016,840口		純資産総額	5,233,655,404円
元本額	13,125,477,814円	5,667,460,974円	△7,458,016,840円		受益権口数	5,667,460,974口
					1万口当たり償還金	9,234円57銭
毎計算期末の状況						
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金		
				金額	分配率	
第1期	14,992,033,742円	14,557,437,142円	9,710円	0円	0%	
第2期	13,516,232,407	12,202,676,390	9,028	0	0	
第3期	9,829,616,127	9,041,901,669	9,199	0	0	
第4期	7,373,529,738	6,805,220,826	9,229	0	0	

○償還金のお知らせ

1万口当たり償還金（税込み）	9,234円57銭
----------------	-----------

○お知らせ

2025年2月26日以降において、当ファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

「投資信託及び投資法人に関する法律」第14条の改正に伴い、所要の変更を行いました。

（変更日：2025年4月1日）